

国語 問題

「1」つぎの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

自然と深く関わりながら生きていきたい。そう思っている人はたくさんいるのではないかと思う。私も若いころ、自然に近い生活に憧れていた。社会的な^Aテイサイを保ちながら、自然の中に入り込んで生きていくには……と考えて、アラスカの原野を作品とした写真家、星野道夫の生き方に憧れた。大自然の中に長期間入り込み、表現活動をして、世に認められて生きていけたら素晴らしい。

その星野道夫が、あるイヌイトから聞いた思い出話を著作で紹介していた。^Bカリブーの季節移動が遅れに遅れてイヌイトたちが^Cガシ寸前になり、いよいよダメだというところで、雪の地平線にぼつりとカリブーらしき黒い点が見えたという話だった。

今思い返すと、私が本当に憧れていたのは、自然写真家として成功した星野道夫ではなく、写真に撮られる側の北米先住民だったとわかる。白い地平線にぼつぽつと現れたカリブーを、作品の題材としてではなく、生き残るための「食料」と思えたら、その風景はいったいどんな「絶景」なのだろう。そう心の奥で焦がれていたのだ。

イヌイトにとって「カリブーが来た」は「生き延びた」と同じ意味である。だが星野道夫も、星野道夫の作品を見るわれわれも、イヌイトと同じ風景を見て、同じように感じることはかなわない。

これまで海外旅行で見てきた風景は、十分に雄大で息を飲むものだった。でも、だれかが見た風景と同じだった。きわどい登山中に見た景色も、そこに存在する自分を肯定し、自己^D憐憫に浸るには十分な情景だった。だが、そんな風景に出会うためには、ギリギリの登山をしなくてはならず、そんな登山を繰り返すのは怖かった。

それが私の「絶景」の限界だった。時間や労力を費やし、リスクを越えた先で見る充分に深みを伴った景色だとは思う。だが、イヌイトが見た地平線のカリブーにはかなわない。横浜の公団団地で育ち、典型的な昭和後期生まれの日本人として人生を歩んできた私は、どうやらどんなに頑張っても、地球環境に対してゲストであることから脱却できない。^Eひ弱な文明人としてしか、世界を見ることは許されないのだとどこかで諦めていた。

あるとき、登山という一定期間でもいいから、^Fケイリュウ魚を釣り、山菜を採って、とにかくすべての生活を山で営み、ただシンプルに生きてみたいと思った。明日を生きるために、命を奪い、食べ、そして登る。できるだけ自力を目指すサバイバル登山のはじまりである。

明日を生き続けるために「獲って殺して食べる」体験は、新鮮な驚きに満ちていた。それまで食料品は購入するのが当たり前だった私にとって、殺しには興奮と引け目が同時に混ざり合い、手にする食料はどぎつく生々しいのに清々しくておいしかった。

そんな体験から、殺す、食べる、生きると真剣に向き合い直し、私は狩猟の世界に足を踏み入れた。山に暮らす生き物の生命に、圧倒的な暴力で介入することを許されたとき、山の風景ががらりと変わった。登山者として見る山と、狩猟者として見る山は同じ山でも全然違う。いつしか私は^G狩猟者の立場から世界全体を見るようになっていった。

国語 問題

近所の食べられる草木の生育状況が気になり、昆虫の発生を確認し、天気の巡りから猟場の野生動物の動向を予想する。首都圏に隣接した住宅街の「カタスミ」に暮らしていても、猟師としての小さな覚悟を持つことで、私は星野道夫が写した先住民の世界観に近づいている感覚を手にしはじめた。

自然のサイクルを感じながら日々を過ごし、小さなことから手作りで生活を組み立てる。できることは自力でやり、自然とともに生きようという小さな覚悟をもつ。そのさきに、イヌイットが見た絶景があるかもしれない。都会でサラリーマンをやりながらも自然に近いところで生きることにはできる。いや、ありふれた日常の延長にこそ、驚くべき絶景が隠されているのではないか。

(服部文祥「ありふれた日常の驚くべき絶景」より)

【注】*カリブー 北米大陸北部に生息する、大きな枝角をもつシカの仲間。日本語では、アイヌ語に由来する「トナカイ」とおなじ動物を指す。

問一 二重傍線部A～Dのカタカナを漢字に直して書きなさい。(大きな字で丁寧に書くこと)

問二 傍線部1「憐憫」の読み方と類義語をつぎの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

〈読み方〉 ア りんぶん イ れんぶん ウ りんびん エ れんびん オ りんべん

〈類義語〉 ア 薄情 イ 満足 ウ 惻隠 エ 陶酔 オ 軽蔑

問三 傍線部2「ひ弱な文明人」とあるが、著者はそこにどのような意味を込めていると考えられるか。その意味として最も適切なものをつぎの中から選び、記号で答えなさい。

ア 文明社会に生きている人間は、星野道夫が紹介していたイヌイットたちほどの過酷な空腹には、肉体的に耐えることができないという意味。

イ 著者が憧れていた星野道夫のように大自然の中に入り込み、イヌイットたちと暮らしを共にする能力が、ほとんどの文明人にはないという意味。

ウ 雄大な風景を見るためにきわどい登山をしなくてはならない文明人は、それを繰り返せないほど脆弱な肉体しか持っていないという意味。

エ イヌイットがぎりぎりの状況で見たカリブーの姿のような雄大な景色を見ても、文明人は自分のことばかり考えてしまう矮小な存在だという意味。

オ 人工的な登山のような方法でしか自然と関係を結べない文明人は、イヌイットのように自然と力強く結びつけられていない存在だという意味。

国語 問題

問四 傍線部3「狩猟者の立場から世界全体を見る」とあるが、それはどのようなことか。その説明として最も適切なものをつぎの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 食べられるか食べられないかという二分法で、世界のあらゆるものを分類して判断していくということ。
- イ 自然に暴力的に介入する存在として、生命を育む自然の営み全体を意識しながら世界を見るようになること。
- ウ 世界のあらゆるものから、狩猟を成功させるために必要な情報を引き出せるようつねに観察していくこと。
- エ 自分が命を奪う存在であることを意識し、イヌイットのように世界からの自然の恵みを待つようになること。
- オ 狩猟に興奮と引け目が伴うように、世界が生々しいと同時に清々しい矛盾した場所として見えてくること。

問五 傍線部4「驚くべき絶景」とあるが、それはどのようなものか。本文全体の内容を踏まえ、三十字以上、四十字以内で説明しなさい。ただし、句読点や記号も一字と数える。

(下書き用)

40 30

国語 問題

〔二〕次の文章Aは、Bをもとに書かれた文章である。これらを読んで後の問いに答えなさい。

A

むかし、賈氏といふ人、たぐひなくかたちわろくて、かほうつくしき妻をなんもちたりける。この女、かばかりみにくき人ともしらず、逢ひそめにければ、くやしき事とりかへすばかりにおぼえけれど、いふかひなくてあかしくらすに、よきことあしきこと、すべてものいはず、「えもわらはで、よのつねはむすぼゝれてのみすぐしけるを、おとこ」たぐひなく憂し」と思ひて、この女にものいはず、「うちゑませばや」としけれども、いかにもかひなくて、三年にもなりにけるに、はる野辺にいで、もろともにあそび侍けり。「きゞす」といふ鳥の、沢のほとりにたちるはべりけるを、この夫、弓矢をとりて名を得たりければ、このきゞすをたち所に射ころしてけり。これを見るに、としごろのにくさもわすれて、ほめ、うちゑみたりければ、夫うれしさたぐひなくおぼえて、

「⁴きかましやいもがみとせのこの葉を 野ざはのきゞすえざらましかば
これを聞くにこそ、よろづのことよくしまほしけれ。

(『唐物語』より。一部表記を改めた)

B

昔、賈大夫⁵悪、娶^レ妻而美^{ナリ}、三年不^レ言不^レ笑。御^{シテ}以^テ如^キ臯^ニ、射^テ雉^ヲ獲^レ之^ヲ、其妻始^{メテ}笑^{ヒテ}而言^フ。賈大夫曰^{ハク}、「⁶才之不^ルナリ^レ可^{カラ}ニ以^テ已^ム、我不^{ンバ}能^{ハレ}射^ル、汝遂^ニ不^レ言ハ不^リシナラン^レ笑ハ。

(『蒙求』より。設問の都合で一部送り仮名を省略した)

問一 Aの傍線部1「えもわらはで」を現代語訳しなさい。

問二 Aの傍線部2「うちゑませばや」の解釈として最も適切なものをつぎの中から選び、記号で答えなさい。

- ア すつかり得心させよう
- イ ちよつとでもにつこりとしてもらおう
- ウ なんとかかくすつと笑わせられないか
- エ 少しでも打ち解けさせよう
- オ どうにか喜ばせられないものか

問三 Aの傍線部3「きゞす」に該当する漢字をBから書き出しなさい。

国語 問題

問四 Aの傍線部4の和歌を現代語訳しなさい。

問五 Bの傍線部5「悪」の読みとして最も適切なものをつぎの中から選び、記号で答えなさい。

ア わろく イ こころあしく ウ みにくく エ こころぐるしく オ にくみて

問六 Bの傍線部6の解釈として最も適切なものをつぎの中から選び、記号で答えなさい。

ア 頓才はとつさのときに身を助けてくれるものだ

イ 才知の有無は自分ではわからないものだ

ウ いささかの機転を働かせるのはやむを得ないことだ

エ わずかであっても不可欠なことがあるものだ

オ 才能というのはなくてはならないものだ

問七 Bと比較し、Aで付加されたのはどのような内容か、説明しなさい。

「三」 つぎのA～Eの中からテーマを一つ選んで答えなさい。なお、できるだけ具体例を挙げ、理由も説明すること。

ア グローバル化が進む現在の世界で、古典文学や古典芸能、漢文学を学ぶことにどんな意義があると思うか、あなたの考えを述べなさい。

イ 文学作品を読む授業をするとして、あなたが近・現代文学史上でかならず取り上げたい作品はなにか、その理由も含めて説明しなさい。

ウ 日本語について変遷を調べたり、他言語と比較したりして分析することによってどんな意味があると思うか、あなたの考えを述べなさい。

エ 海外で日本の漫画やアニメーションを日本文化として紹介するとしたら、どんな説明をすればよいか、あなたの考えを述べなさい。